

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>〇だれもが安心して、自分の夢に向かって成長していくことのできる学校創りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。 ・人とのふれ合いや関わり合いを大切にされた教育活動を展開し、互いに認め合い、思いやることのできる心を育てます。 ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事を大切にしたりすることができる力を育てます。 ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験的な活動を通して、 まちを大切にすることを育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、安心して安全な学校生活を送れるようにします。 ・異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ、委員会活動、登校班での異学年の人や地域の人と積極的にかかわりをもつようにする。 ・道徳の時間を大切に、心の変容を価値づける。 ・人権週間の取り組みを工夫し、計画的に意識を高める。 ・あいさつ運動を実施し、気持ちの良い人間関係を育む。 ・障がいがある「ない」にかかわらず、すべての児童が教育的ニーズに応じた支援を受けられるような体制を作る。

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、児童数が800人規模の学校であり、地域の中で、たくさんの人と豊かなかかわりをもつことができている。全般に素直で明るく、人に優しく接している。与えられた課題にしっかりと取り組むまじめさがあり、がんばっていることを認め合う姿も見られる。

アドバイスや指示があると問題解決に取り組むことができるが、主体的に試行錯誤して自分の力で何とかしようという子は多くない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

〇要となる「道徳の時間」の指導の充実【視点1】

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、道徳の時間との関連を図り、豊かな体験をもとにした道徳的価値を捉えられるようにします。
- ・全学級の道徳授業公開を年間一回以上実施し、地域や保護者と共に道徳的価値について考えられるようにします。

〇児童・生徒にとって魅力的な教材の活用【視点2】

- ・学級や学校生活における具体的な事柄や今日的な課題について深く考えることができるもの等、児童の実態に合わせ効果的な教材の開発と活用を行います。

指針2 体験学習の充実

○身の回りにある人や自然、文化とかがわる学習や活動を取り入れ、いぶき野のまちの一員としての姿勢をはぐくむ。【視点4】

- 幼稚園、保育園との交流活動を実施します。
- 和太鼓やソーラン節、お囃子、八木節等、日本の伝統文化にふれる学習に取り組みます。
- 稲作体験（バケツ稲）や学校花壇や植木鉢での植物栽培など、地域の協力者にもアドバイスをいただきながら体験活動を進めます。
- まちたんけんや畑の学習など地域を知る学習を行います。
- 夏祭りなど地域の行事に進んで参加します。

指針4 豊かな感性や情操の育成

○児童支援専任やコーディネーターを中心とした特別支援教育を充実させ、児童一人ひとりのニーズに対応した教育を推進する。【視点8】

- 障がいがある「ない」にかかわらず、すべての児童が教育的ニーズに応じた支援を受けられるような体制を作ります。
- 特別支援教育についての児童や保護者への理解を促進します。